

インストールガイド

Cimatron 13.0 リリースノート



目次

ハードウェア要件	1
ソフトウェア要件	2
インストール権限	3
インストール手順	3
インストールステージ	9
インストールレイアウト	10
インストールシナリオ	10
以前のバージョンのユーザーデータを保持	11
Cimatron データファイル(ユーザーがカスタマイズしたファイル)	11
ユーザーが作成したデータファイル	15
付録 A: メモリおよびオペレーティングシステム(OS)の推奨情報	16

ハードウェア要件

Cimatron をインストールするためのハードウェア要件は以下の通りです：

- プロセッサ(CPU)：
 - **最小：** Intel または AMD 製のデュアルコアプロセッサ
 - **推奨：** 64bit クアッドコア プロセッサ (Intel core i7 第 4 世代以上)
- メモリ(RAM)：
 - **最小：** 4GB
 - **推奨：** 16GB 以上



注意： 優れた I/O パフォーマンスを得るためには、ソリッドステートドライブ (SSD) の使用を推奨します。Windows と Cimatron は SSD にインストールする必要があります。ファイル管理 (ユーザー登録データのフォルダ) は別のハードドライブ (ローカルまたはネットワーク) 上に設定してください。

- グラフィックカード：

Quadro (NVIDIA 社) および FireGL/FirePro (AMD 社) が、CAD/CAM ソフトウェアで最も推奨されるカードです。

グラフィックカードのパフォーマンスは、ドライバのバージョンとメモリサイズに密接に関連しています。ドライバがより新しいほど、メモリがより大きいほど、グラフィックカードのパフォーマンスは向上します。

推奨されるグラフィックカードは、Cimatron のウェブサイトを参照してください：

<https://cimgraphics.cimatron.com>

グラフィックカードは OpenGL 3.1 3D をサポートする必要があります：

- **最小：** 1GB メモリ
- **推奨：** 2GB メモリ
- 3 ボタンマウス



注意： 詳細なハードウェア推奨情報については、付録 A を参照してください。

ソフトウェア要件

Cimatron をインストールするためのソフトウェア要件は以下の通りです：

- 以下の Windows OS がサポートされています：

推奨：

- Windows 7 Professional/Ultimate Edition 64 ビット版
- Windows 8 Pro 64 ビット版 または Windows 8.1 Pro 64 ビット版
- Windows 10 Pro 64 ビット版
- Windows Server 2008 R2 64 ビット版
- Windows Server 2012 64 ビット版 または Windows Server 2012 R2 64 ビット版



注意： .NET Framework 4.5 は必須です。もしインストールされていない場合は、Cimatron のインストールプロセス中に自動的にインストールされます。

サポート対象外：

- すべての 32 ビット版 OS はサポートされていません。
 - Windows XP 64 ビット版はサポートされていません。
-
- Internet Explorer 9 以上がインストールされている必要があります。

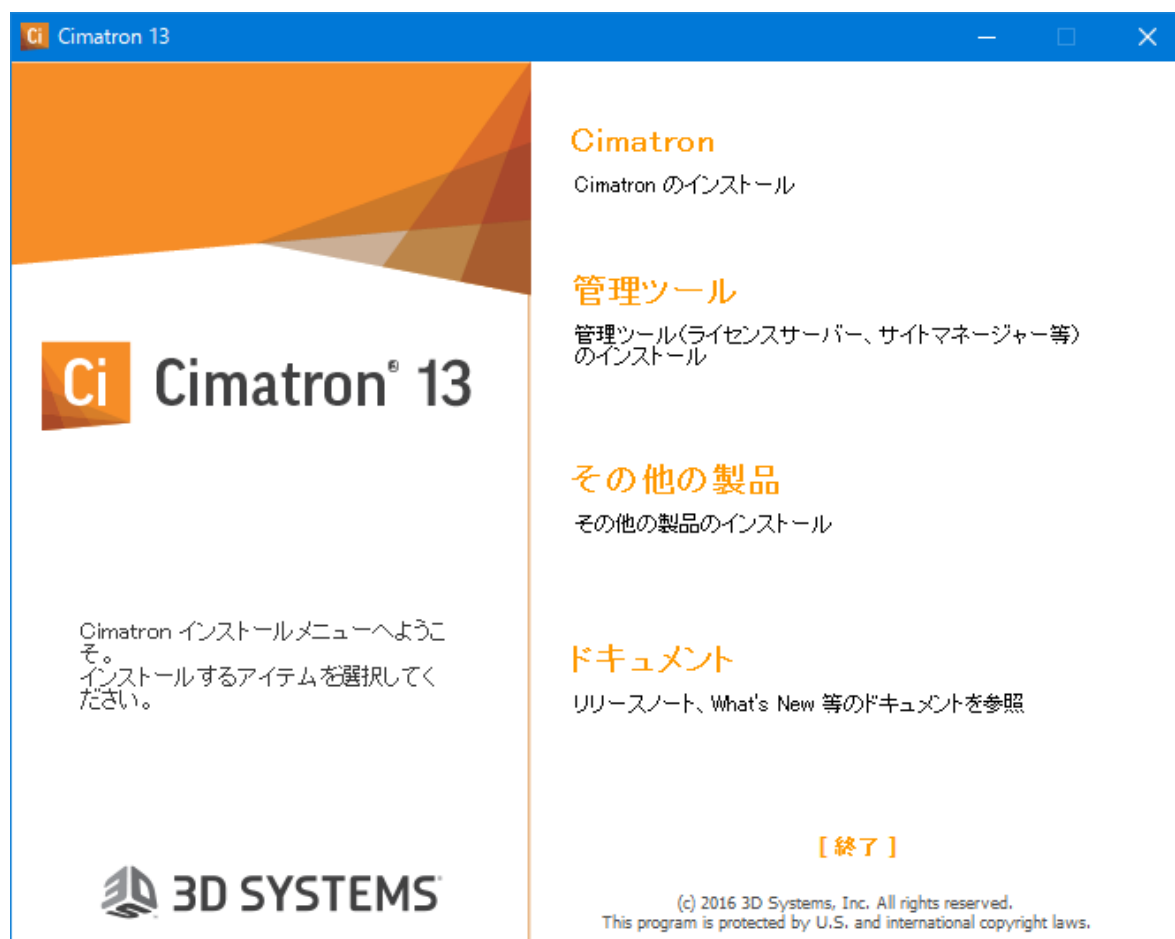
インストール権限

Cimatron のインストールには管理者権限が必要です。

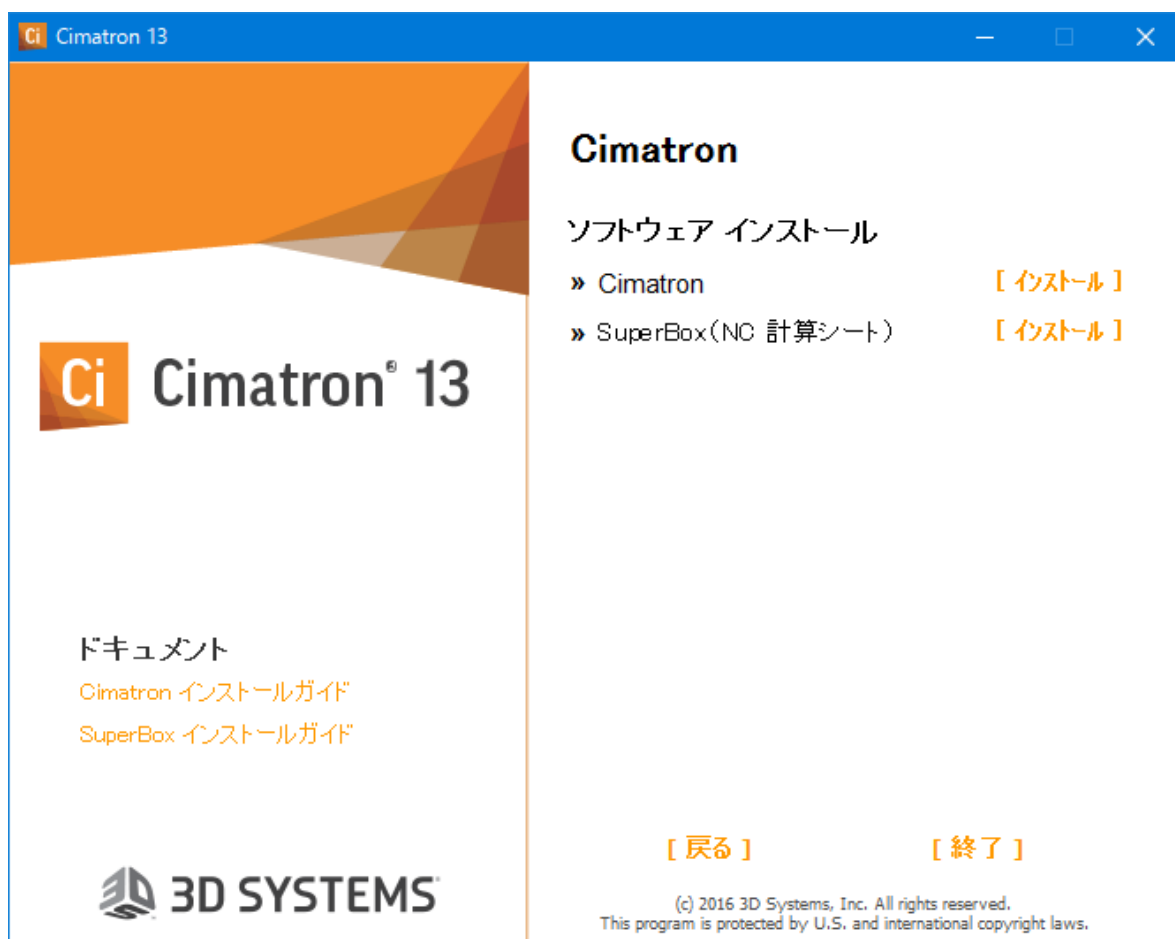
インストール手順

以下のように、インストール用のコンピューターを準備します：

1. 他のすべてのアプリケーションを終了します。
2. **Cimatron 13 DVD** をドライブに挿入します。
3. Cimatron インストールメニューが表示されます。**[Cimatron]**をクリックします。

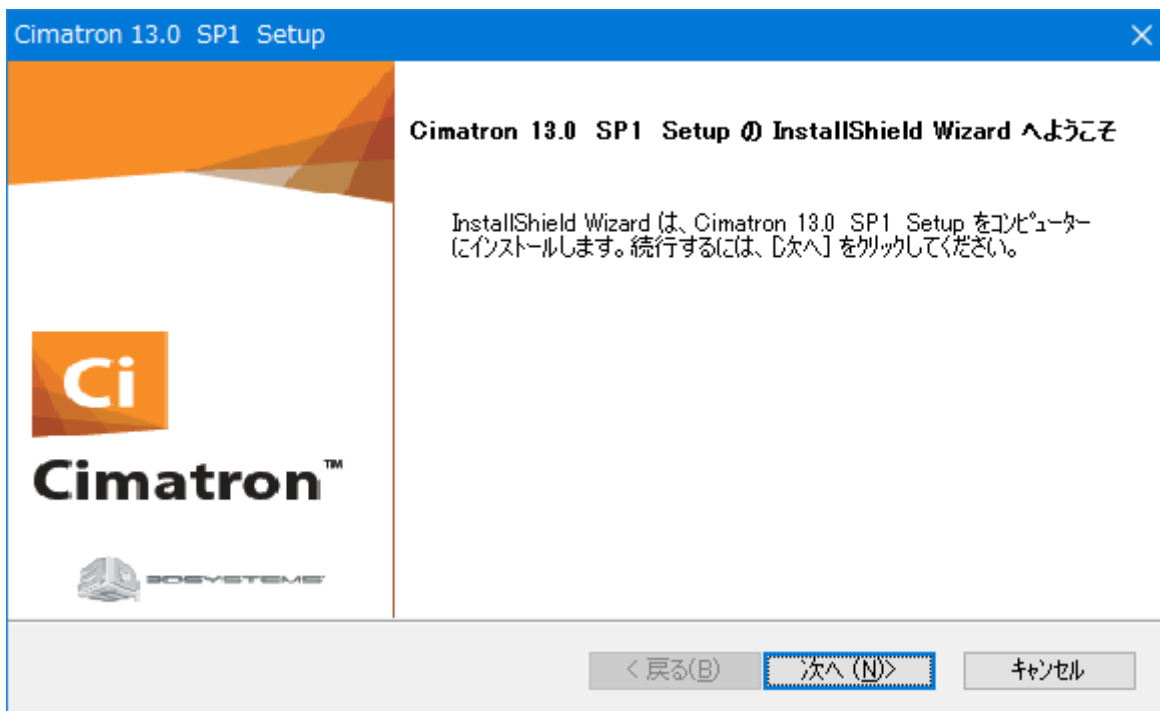


4. 次に、「ソフトウェア インストール」メニューが表示されます。
「>> Cimatron」の右側にある[インストール]をクリックします。

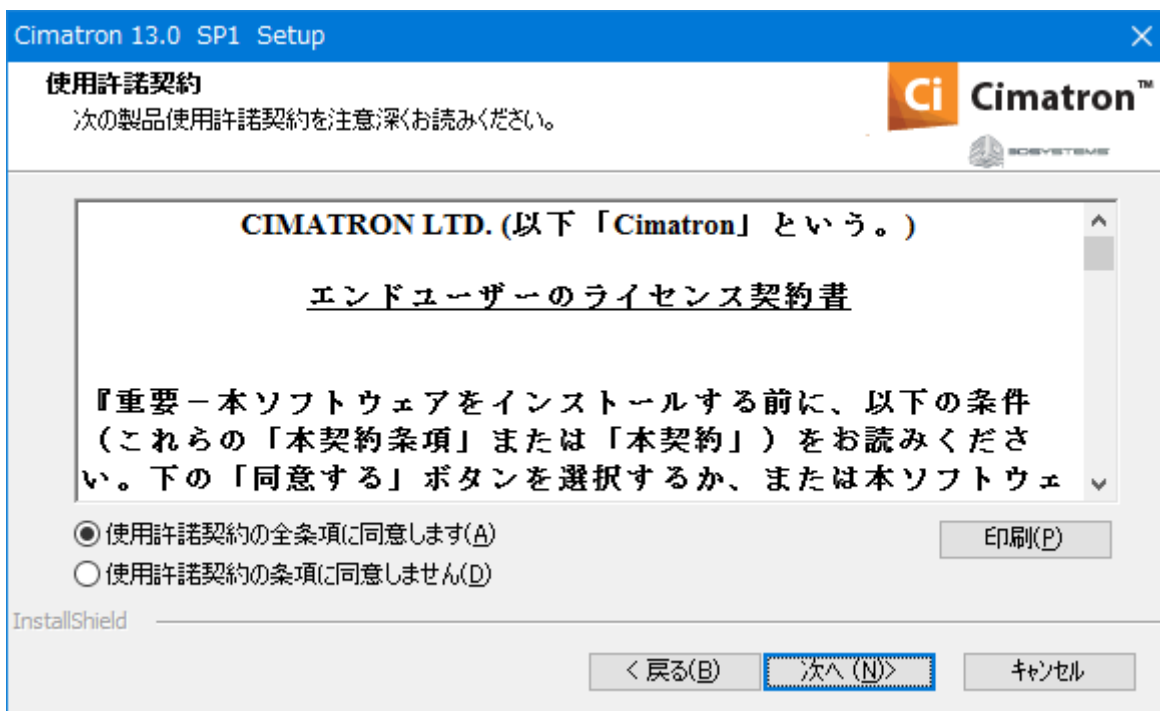


インストールプログラムが自動的に実行されます。インストールウィザードの指示に従って進めてください。

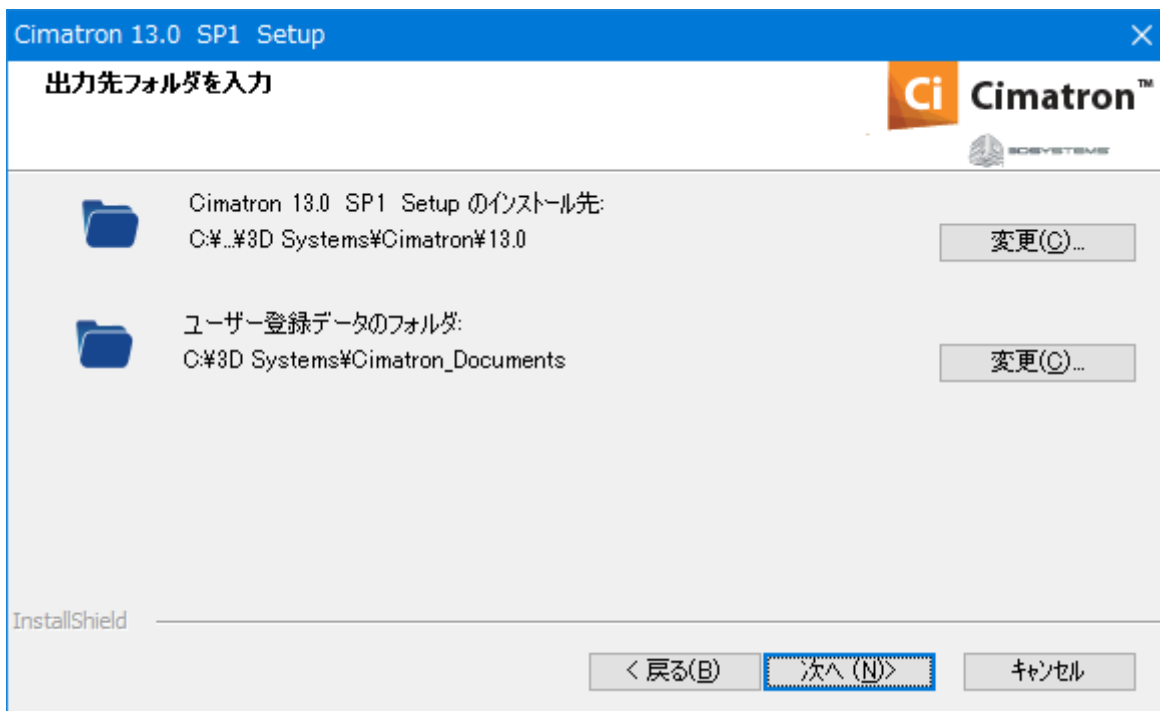
5. 「Cimatron 13.0 SP1 Setup の InstallShield Wizard へようこそ」ダイアログが表示されます。[次へ]をクリックします。




6. 「使用許諾契約」ダイアログが表示されます。「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、[次へ]をクリックします。



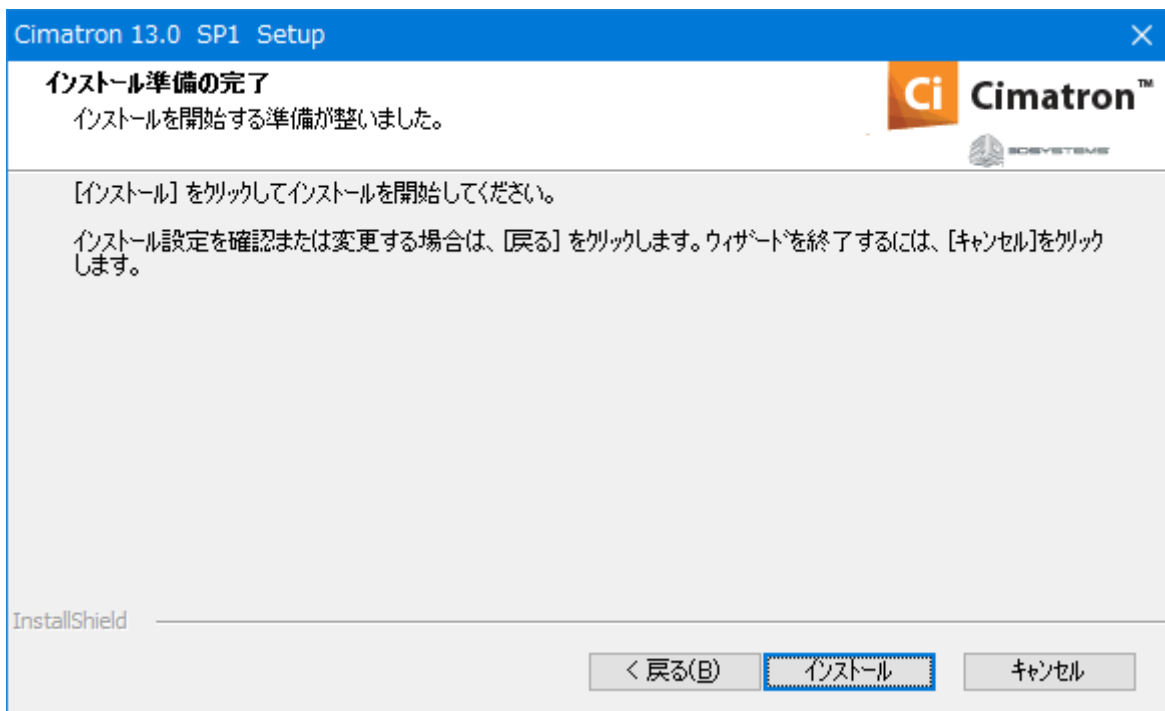
7. 「出力フォルダを入力」ダイアログが表示されます。設定内容を確認し、[次へ]をクリックします。
「インストール先」および「ユーザー登録データのフォルダ」を変更する場合は[変更]をクリックします。



 **注意:** 「ユーザー登録データのフォルダ」にはスペース(**xxx yyy**)は使用せず、アンダーバー(**xxx_yyy**)等を使用してください。

Cimatron はスペースを含むフォルダ名はサポートしていません。

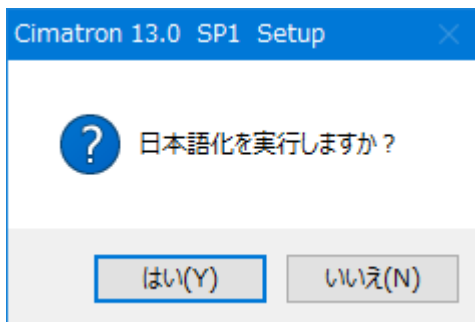
8. 「インストール準備の完了」ダイアログが表示されます。[インストール]をクリックします。



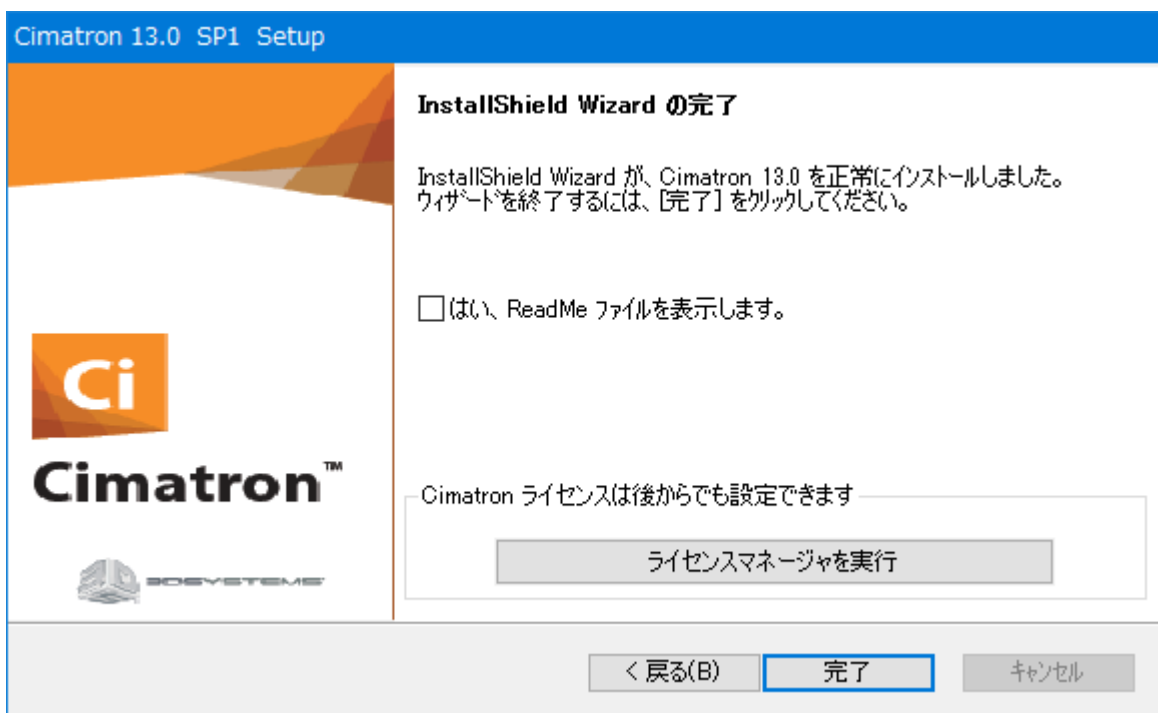
9. インストールが開始されます。



10. 「日本語化を実行しますか?」というメッセージが表示されます。
[はい]をクリックして日本語化を実行します。



11. インストールが完了すると、「InstallShield Wizard の完了」ダイアログが表示されます。
[完了]をクリックします。



注意: インストール完了後、Cimatron コントロールパネルから「ライセンスマネージャ」を実行することができます。ライセンスの設定については「ライセンスガイド」を参照してください。

インストールステージ

インストールプログラムは、Cimatron をインストールする前に、以下のソフトウェアをインストールします。これらの項目は、インストールを継続するための必要条件です：

- Microsoft .NET Framework
- Microsoft Visual C++ 再頒布可能パッケージ



注意： インストールステージでは、システムが再起動を必要とする場合があります。

Cimatron のインストールステージは以下の通りです：

- インストールを実行するユーザーが管理者権限を持っているかどうか確認します。
- 既存の Cimatron バージョン（インストールされている場合）を認識し、適切なインストール方法を選択します： 新規、アップグレード、追加インストール
 - 新規インストール： Cimatron がインストールされていない場合
 - アップグレード（上書き）インストール： 以前のインストールとバージョンが同じ場合
 - 追加インストール： 以前のインストールよりもバージョンが新しい場合
- Cimatron ソフトウェアレイアウト（フォルダおよびサブフォルダ）を作成し、ファイルをコピーします。
- Data ファイル -
 - 関連するユーザー定義ファイル（新規作成されたもの）と、以前のバージョンからユーザーが変更したデータファイルを保持します。
 - 環境設定ファイル（CimatronE.prf）、属性テンプレートファイル（modeler.exl 等）および、属性翻訳ファイル（AttrTrnMap.xml）を結合します。これは、アップグレードまたは追加インストール時のみ発生します。
- PDF 印刷ドライバをインストールします。
- ライセンスマネージャを使用してライセンスの場所を設定します。
- Cimatron ソフトウェアは異なるコンピューター環境に調整します。
例）異なる OS 言語： 日本語、ドイツ語、他
- Cimatron ソフトウェアのアンインストール： インストールされたすべてのファイルをディスクから削除、関連レジストリの削除、プログラムグループの削除

インストールレイアウト

- Cimatron 13.0 フォルダ構造は以下の通りです：
C:\3D Systems\Cimatron_Documents
C:\Program Files\3D Systems\Cimatron13.0
 \Data\Workarea
 \Program
 \SourceData
- 製品名とパス(**C:\Program Files\3D Systems\Cimatron**)はデフォルトで設定されていますが、変更することができます。しかし、以下のサブフォルダの場所を変更することはできません：
Data、Program、SourceData、Workarea
- **Cimatron_Documents** の場所は、インストール中にユーザーが変更することができます。
これは、ユーザーファイル(*.elt)のデフォルトフォルダです。
- カタログを使用する場合、必ず DVD からインストールしてください。デフォルトの製品名およびカタログのインストールパスは **C:\ProgramData\3D Systems\Catalogs_13.0** ですが、必要に応じて変更することができます。

カタログはバージョン毎にインストールされます。したがって、デフォルトのカタログインストールフォルダにはバージョン名が付きます。

カタログを更新する際、ユーザーが作成したカタログパーツは削除されません。

カタログフォルダの内容は、「**Cimatron モールド／ダイカタログ**」のインストールに依存します。

詳細は「**Cimatron モールド／ダイカタログ**」インストールガイドを参照してください。

インストールシナリオ

以下のインストールシナリオがサポートされています：

1. **新規インストール**： まっさらなコンピューターに Cimatron の最新バージョンをインストールします。
2. **アップグレードインストール**： 既存のインストール上に同じメジャーバージョンをインストールする場合、システムは自動的にバージョンを更新します。

以前のバージョンのユーザーデータを保持

以前のバージョンでユーザーがカスタマイズおよび作成したデータファイルを保持するには、以下の手順に従ってください。

Cimatron データファイル(ユーザーがカスタマイズしたファイル)

1. Cimatron 13.0 が提供する属性ファイル(**AttrTrnMap.xml**)および環境設定ファイル(**Cimatron E.prf**)は、CimatronE 12.0 または CimatronE 11.0 で作成されたユーザーファイルと結合されます。
2. ユーザー定義データインターフェース設定ファイルは上書きされません。
3. 他のユーザーカスタマイズファイルは、下表のように扱われます：

ファイル名	場所	Cimatron 13.0 での変更	インストール時の処理
CimXplor.Pos, Catalog.Pos, FixedCollection.Pos, ModalLayout.Pos, MoldConfiguration.Pos, LayoutMM.Pos, LayoutInch.Pos, NCSequence.Pos, DieSet.Pos	Data	あり	新規ファイルをインストール
DieLoadDieSet.Pos, DieLoadPunchUnit.Pos	Data	なし	新規ファイルをインストール
CimPlot.ini	Data\Display	あり	アップグレード: 既存ファイルをバックアップし、新しいものをインストール 追加インストール: 新規ファイルをインストール
SpaceballSetup.ini MagellanSetup.ini	Data\Display	なし	アップグレード: 既存ファイルを保持 追加インストール: 既存のバージョンのファイルをコピー
Default.material	Data\Display\Ligh tsAndMaterials	なし	アップグレード: 既存ファイルをバックアップし、新しいものをインストール 追加インストール: 新規ファイルをインストール

ファイル名	場所	Cimatron 13.0 での変更	インストール時の処理
Default.lights	Data\Display\LightsAndMaterials	あり	アップグレード: 新しいものをインストール 追加インストール: 新規ファイルをインストール
pullcommands.ini	Data	なし	アップグレード: 既存ファイルを保持 追加インストール: 既存のバージョンのファイルをコピー
NC.exl Drafting.exl	Data\Templates	なし	アップグレード: 既存ファイルを保持 追加インストール: 既存のバージョンのファイルをコピー
Modeler.exl Assembly.exl	Data\Templates	あり	アップグレード: 既存のバージョンのファイルと結合 追加インストール: 既存のバージョンのファイルと結合
Defaut.ttp	Data\Templates	あり	アップグレード: 既存ファイルをバックアップし、新しいものをインストール 追加インストール: 新規ファイルをインストール
DisplayQuality.exl	Data\Display	なし	アップグレード: 既存ファイルをバックアップし、新しいものをインストール 追加インストール: 新規ファイルをインストール
Symbols.rtf (special drafting symbols)	Data	なし	アップグレード: 既存ファイルを保持 追加インストール: 既存のバージョンのファイルをコピー

ファイル名	場所	Cimatron 13.0 での変更	インストール時の処理
Document default templates	Data\Templates\Default	なし	新規ファイルをインストール
BOM_Template.csv	Data\Resource\english	なし	追加インストール: 既存のバージョンのファイルをコピー
sym_text.csv idnum.dat	Data\Resource\english	あり	アップグレード: 既存ファイルをバックアップし、新しいものをインストール 追加インストール: 既存ファイルをバックアップし、新しいものをインストール
threads.csv	Data	なし	アップグレード: 既存ファイルをバックアップし、新しいものをインストール 追加インストール: 新規ファイルをインストール
AttForRemove.txt	Data	なし	アップグレード: 既存ファイルをバックアップし、新しいものをインストール 追加インストール: 新規ファイルをインストール
ncverify.ini cvsolid.ini	<WINDIR>	あり(サードパーティによる)	既存ファイルをバックアップし、新しいものをインストール
off.csv	Data\dat\externals	あり	アップグレードインストールの場合にバックアップ
PostParams.xml	Data	なし	アップグレード: 既存ファイルの保持 追加インストール: 既存のバージョンのファイルをコピー

ファイル名	場所	Cimatron 13.0 での変更	インストール時の処理
NCEnv.xml	Data	なし	アップグレード: 既存ファイルをバックアップし、新しいものをインストール 追加インストール: 新規ファイルをインストール
CimatronCstm.xml	Data	新規	ランタイム上で作成

ユーザーが作成したデータファイル

Cimatron 13.0 または CimatronE 12.0 でユーザーが作成したすべてのデータは、Cimatron 13.0 のインストール時に対応するフォルダへコピーされます。

ユーザーが作成したデータファイルがコピーされるフォルダー一覧を以下に示します：

Folder Name	Contents
Program Files\3D Systems\Cimatron13.0\Data\IT\var\post	GPP posts
Program Files\3D Systems\Cimatron13.0\Data \IT\var\profiles\<user_name>	User files
Program Files\3D Systems\Cimatron13.0\Data \IT\dat\defdata	Drafting standards
Program Files\3D Systems\Cimatron13.0\Data \templates	Drafting and electrode templates

付録 A: メモリおよびオペレーティングシステム(OS)の推奨情報

ここでは、Cimatron 13.0 を実行するための推奨メモリ、考慮すべき様々な要因など、ハードウェアとオペレーティングシステム(OS)を購入する際に必要な情報を提供します。



注意:

- 仮想メモリ(スワップディスク)は、物理メモリの 2 倍以上に設定しておく必要があります。

作業の複雑さ	複雑さの定義	推奨最低メモリ
低	<p>パーツ: 1000 面未満の単純なパーツ</p> <p>アセンブリおよびモールドデザイン: 100 未満のコンポーネントを含む、単純なパーツのアセンブリ</p> <p>CAM: 単純なパーツおよび金型</p>	4GB – 8GB
中	<p>パーツ: 3000 面未満の中規模パーツ</p> <p>アセンブリおよびモールドデザイン: 800 以下のコンポーネントを含む、中規模パーツのアセンブリ</p> <p>CAM: 中規模の複雑なパーツおよび金型</p>	8GB – 16GB
高	<p>パーツ: 3000 面以上の複雑なパーツ</p> <p>アセンブリおよびモールドデザイン: 800 コンポーネント以上を含む、複雑なパーツのアセンブリ</p> <p>CAM: 複雑なパーツおよび金型</p>	16GB 以上